



### 5 根室石油(株)落石給油所

TEL0153-27-2230  
営業●8:00-18:00・祝日17:00まで  
定休●日曜日

ルートマップ販売所

ここに勤務する橋孝博さんはスタンドでの給油のほか、船に重油を給油する港町ならではの仕事をしています。こころ落石出身で子供の頃は旧無線局が仲間と遊ぶ時の秘密基地だった。「何もないところだけ花や動物、自然は豊かですよ」と笑顔で迎えてくれる。



### 朝日食堂 1

根室では珍しい苗字の惣万(そうまん)照子さんが切り盛りするお店。ご主人は新潟の出身。こころ落石には北陸の出の方が多いことから越中衆(えっちゅうしゅう)と呼ばれていたそうだ。カウンター中心の小さな店だが、地元、落石のネコアシ昆布で出汁をとったラーメンが、この売りだ。



シマエビ入り  
ラーメン  
650円。

TEL0153-27-2525  
営業●のれんが出ている時  
OPEN●1965(昭和41)年から  
メニュー●ラーメン・炒め御飯など

ちょうど車が増え始めた昭和40年代始め、親戚に誘われ、隣町浜中から自動車整備工場のない落石に店を構えた。漁師さんがその日の仕事を終る午後後に修理を頼まれることが多いので、作業も夜8時頃まで続くことも。地元のトラックのほとんどを整備しているほか、曲がったイカリの修繕など鉄工所の役割も果たす。地元の漁業とは切っても切れない関係だ。

### 6 落石自工株式会社

TEL0153-27-2063  
営業●9:00-20:00  
定休●日曜・第2土曜  
OPEN●1969(昭和44)年



### 8

### 休み番屋しおかせ



TEL0153-27-3939  
1泊2食付5800円、素泊2900円  
(12名様で1人5300円)  
チェックイン●14:00～  
OPEN●2005(平成17)年

以前、漁に使った番屋だったものを改装した宿。「海霧が出るのと寒いけど、その自然が落石の豊かな海をつくり、漁を豊かなものにして聞くと、憎めないわ。」と女将の石田フミ子さん。海霧の賜物はたくさんある、例えば花のハクサンチドリ。地元ではカコウが鳴く6月頃に咲き始めることからカコウバナと呼ぶが、「ここでは野原で普通に咲く何でもない花なんですけど、観光客は驚き喜ぶわよ」聞けば本州では、1000mを超える山に咲く高山植物なんだとか。



敷地内にはカネイシ船具店も



### 9 カジカの宿

宿の主人 萩島定巳さん

TEL0153-27-2668  
1泊2食付5500円、素泊3700円～  
個室(2名様～)1人1泊2食付6000円  
チェックイン●15:30～  
OPEN●1993(平成5)年から落石にて

自分の宿を持ちたいと市内納沙布岬の近くで『カジカの宿』を開業。この夢を持って北海道の宿でバイトしていた時、主人からつけられたアダ名が魚の「カジカ」、その時の仲間が「カジカがやっている宿」と紹介してくれるので、そのまま名前にした。17年ほど前に落石漁港が見渡せるこの高台が気に入り移転。



# おちいし 界隈ガイド

## Ochiishi Area Guide



TEL0153-27-2252  
窓口●9:00-17:00  
ATM●平日8:45-18:00  
土曜9:00-12:30  
1880(明治13年)年開局、  
現在の局舎は5代目。

オリジナル消印は、  
50円以上の切手を購入すると押せる。  
ふるさと切手や、オリジナルポスト型  
はがき180円とまたどうぞ。



### 15 暮喜農園荘さがる

旧落石郵便局に29畳の畳を敷いた地域住民が使える集会所。「ホッキリ機」という古い地名と、「気軽」に集まれるということから名づけられている。



### 3 新濱商店

TEL0153-27-2052  
営業●7:00-19:30 定休●不定休  
OPEN●1950(昭和25)年

砂浜に打ち寄せる冬の流水も巨大で、優美な姿を見せていた頃、お焼きや駄菓子も扱う店として開店し、その後60年以上の歴史を持つ地元商店。華やかだった地区の様子や、観光客がユックを預けて、岬まで歩いていたのんびりとした時代なども知り、幼い時から新濱百合子さんは町を見続けて来た。とくに太平洋の波模様と、朝陽と夕陽が彩る光景は壮大で、まるで別世界の風景。それは今でも変わらない落石の自慢でもあるという。



### 7 ミキ美容室

地元のおなじみさんが、仕事の合間に来店。営業開始が早いのも漁師町ならではのこと。

### 4 井上商店

TEL0153-27-2020  
営業●9:00-18:00  
定休●不定休  
OPEN●1972(昭和47)年



「北洋サケ・マスが全盛期だった頃、港は漁船と船員で溢れていたね。商店・食堂・居酒屋・スナックなど15～16軒の店、活気のあるにぎやかな町だった」とご主人。今でも地域の店というのは変わらないが、この頃は海で何日も操業する漁船への仕込み店として、5人で切り盛りしていたほど忙しかったという。



### 16 曹洞宗護法山 正禅寺

TEL0153-27-2009  
住職●古橋英俊

住民の要請により1906(明治39)年、落石説教所として開山。港がまだなかつた昔、湾に船を入れるとき海面下の暗礁を避けるため、本堂天辺にあつた擬宝珠(ぎぼし)を目印に進んだという。



### 17 真宗大谷派 高德寺

TEL0153-27-2012  
住職●清水口顕誠

1910年代(大正前期)に根室別院付属説教所として公許された。根室では戦時下の供出で、梵鐘を失ったままの寺院が多いが、1947(昭和22)年に再鑄されている。北方領土にあつた多摩島説教所の御本尊もここに安置されている。



### 18 落石神社

創祀●1911(明治44)年10月18日

故山崎其次郎が地区の平和と、産業経済の発展を祈念し、本人の崇高なる敬神の元、有志浄財を募り社殿を造営。事代主神を祀って落石神社が誕生した。  
(『落石金刀比羅神社七十年記念誌』より)



### 2 太陽食堂

女将の窪田茂子さん

開店当初は岸壁のすぐ横にあり、祖母フミさんが店を切盛。落石で見るとお日様がキレイだったので、店の名は「太陽」とした。港に出入りするたくさんの方の漁師さんが、作業の合間に食べに来ていたそうで、今でも昔ながら味を変えずに営業。またご主人の窪田次也さんは、『太陽潜水』という潜水業をしていて、地元を中心に急な船舶のトラブルなどに対応している。



TEL0153-27-2061 営業●のれんが出ている時  
OPEN●1962(昭和37)年前後頃から  
メニュー●ラーメン、チャーハン、  
カレーライス各600円など